

大谷學報

第四十三卷 第三號

昭和三十九年二月一日發行

パーソンズ理論おける

類型変数の図式……………中久郎…(一)

教行信証における三一問答の特質…臼井元成…(二四)

芥川竜之介における宗教(上)……………渡辺貞磨…(三〇)

陶冶の両極……………前田博…(三三)

—シュブランガーにおける陶冶理想の探求—

秋季公開講演会要旨……………(五八)

謝靈運の文学に対する仏教の浸透……………平野頭照

平安貴族の仏事について……………堅田修

善導大師に於ける仏弟子釈の位置……………広瀬杲

ウィーンのインド学……………雲井昭善

新刊紹介……………(七二)

彙報……………(七九)

大谷大學

大谷學會

大谷大学研究年報 第十五集

称友造阿毘達磨俱舍論明瞭義釈

破我品

—梵文の和訳と註と梵文テキストの

正誤訂正表—

舟橋一哉

真実教の開頭

広瀬杲

実験的知性の道德教育

—デューイの価値判断論を中心に—

藤武

中国仏教徒と禁酒運動

—仏教徒の精神生活の一面—

道端良秀

プラトンの神学と宇宙論

—第一部『ティマイオス』解釈—

金松賢諒

大谷学報 第四十三卷第二号

入楞伽經における肉食の禁止

—梵文「食肉品」和訳・梵文訂正— 安井広濟

伊勢伝考

—晩年の伊勢— 岡崎知子

明初の神楽観と道教 滋賀高義

曇鸞帰浄の伝記について

—「大集経」と「観経」の意義— 大門照忍

真宗概論 鈴木大拙

(公開講演要旨)

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHOLOGY AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles:—

Parsons' Pattern Variables

—A technical note—*Kyuro Naka* (1)

The significance of *Shinran-shonin's* 親鸞聖人

interpretation of the 'threefold aspect

of faith' in the chapter of "Faith" of the

Kyo-gyo-shin-sho 教行信証*Genjo Usui* (14)

Akutagawa Ryunosuke's 芥川竜之介

Vieus on Religion (I)*Sadamaro Watanabe* (27)

E. Spranger's Educational Theory.....*Hiroshi Maeda* (43)

The Otani Society Public Lectures (Epitome)..... (58)

Forthcoming Books:

Reports:

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷學會章程

會務を統理する。

第七條 委員は十名とし、教授會において互選する。

2、委員は企畫・編集・出版等の會務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八條 會員は、本會の出版物にその研究を發表し、「大谷學報」並びに「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合・出席することができ

る。

第九條 會員の會費は年額金壹千圓とする。

第一〇條 本會の經費は會費をもつてこれに當てる。

2、本會の必要經費については、助成金を受けることができる。

第十一條 本會の事務は、教務課の所管とする。

第十二條 この規程の改正には、教授會の議を経なければならない。

附則 この規程は昭和三十七年四月

一日から施行する。
2、昭和二十七年四月一日施行の「大谷學會會則」はこれを廢止する。

大谷學會役員

會長 會我量深

委員

阿部行人 岩見 至 横超慧日
坂本 弘 佐々木教悟 多屋頼俊
野上俊靜 廣瀬 杲 藤島達朗
舟橋一哉

昭和三十九年二月一日發行

大谷學會代表者

編集兼 發行者 松 原 祐 善

印刷者 西 村 七 兵 衛

京都市北區小山上總町

大谷大學内

發行所 大 谷 學 會

第一條 大谷大學に大谷學會を置く。

第二條 本會は眞宗學・佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する學術の研究と、その發表をおこなうことを目的とする。

第三條 本會は前條の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷學報」の發行

二、「大谷大學研究年報」の發行

三 研究會及び公開講演會の開催

四、その他必要なる事業

第四條 本會は大谷大學大學院・文學部並びに短期大學部のすべての教育職員及び學生をもつて會員とする。

2、前項のほか、本會の趣旨に賛同し、役員會において承認されたものは、會員となることができる。

第五條 本會に左の役員を置く。

一、會 長

二、委 員

第六條 會長には大谷大學學長が當り、